

政策会議 議事概要

- 1 日 時 令和2年11月13日（金） 13時50分～14時20分
- 2 場 所 第一会議室
- 3 出席者 市長、両副市長、総務局長、総合政策局長、財政局長、総務局次長、
総合政策部長、所管局長、所管部長
- 4 議 題 農林業成長アクションプランの策定について【方針決定】
(経済農政局農政部)

【決定事項】

- ・ 次期農業基本計画を策定するまでの間、現在明らかになっている本市農業の喫緊の課題への対応や将来の農業の成長産業化の実現を見据えた取組を的確に実施するため、令和3年度及び令和4年度を計画期間とする「千葉市農林業成長アクションプラン」を策定する。

経済農政局長、農政部長

～資料に沿って説明～

(質問・意見等)

総合政策局長 農政センターのリニューアルについて、民間からの農業関係の提案を受け入れる際の窓口を立ち上げるようなことはあるのか。また、今後、具体化していった際は、協議会を設けるなど、どのような推進体制で進めるのか。

農政部長 現状では、基本的に農政課で民間企業と相談する場を設けており、新たに窓口を設ける必要はないと思われる。今回は本市からお声掛けし、様々な企業に集まっていたが、今後、本市がしっかりと取組みを進めていくことによって、企業の方から、集まってきてくれる状況になってくると思う。まずは取組みを外に向けて発信することも重要であり、パートナーになっていただける企業を我々が選択できるような状況にしていかなければならないと考えている。また、今の企業はベンチャー企業をはじめ展開が非常に早く、会議体を設けるとスピード感に欠けてしまうと考えられるため、民間企業との連携において、協議会を設ける必要はないと思われる。むしろ自由に議論する場を所々で作っていきたい。その中でしっかり使えるものは、協議を重ね、施策として作り上げていく。

総合政策局長 具体的に使えるような技術を提案いただき、それを即戦力として、取り入れていくという考えか。

農政部長 その通りである。

財政局長 財源の確保は、農政センターリニューアルのプランを作っていく過程で、国費を活用できるよう努力していただきたい。

農政部長 国費活用に向けて努力する。

市長 農林水産省における国費投入の考え方は。

農政部長 農林水産省の予算では、基本的には農業者に払うものになっており、教育・研修機関

に出すものは、なかなか少ないのが現状である。一方で、スマート技術関連の予算の幅は広がってきており、民間企業に支払う予算も今回の概算要求に入ってきていることから、本市における今後の取組みを農林水産省に説明をする場をつくり、関連予算の活用を見出していきたい。現状でも活用できる制度はあると考えられるため、農林水産省としっかり相談していきたい。

総務局長 農業職の職員採用に関し、優秀な人材の確保のためにも、農政センターのリニューアルの取組み等を企業だけではなく、これから本市の職員採用試験を受験する方にもお話しいただきたい。非常にやりがいのある仕事であり、外部に発信していくことで受験者が集まってくると思う。

農政部長 今回の新たな取組みを踏まえつつ、色々な大学等で説明をする場を設けて、しっかりとPRをしていきたい。

市長 全国の農政センターの中で、農林水産省が注目している取組事例は。

農政部長 農政センターという枠組みではないが、市町村単位での取組みで注目度が高いものは宮崎県新富町の事例がある。「新富アグリバレー」という名前で、色々なベンチャー企業も引き込みつつ、現場で地元企業を立ち上げて、ロボットの開発等を行っている。一方、現在のところ、政令市で農政センターを持った形で取組みを進めている事例はあまりないため、しっかりと取組んでいきたい。農政センターのリニューアルに向けた企業ヒアリングの中では、行政機関と一緒に技術をつくる場があるといいという意見が多かった。スマート技術を持つ企業は、大企業であっても部署が小さかったり、あるいは、まだベンチャー企業であるところが多く、企業への信頼度を向上させることや現場と繋がることは、なかなか難しい部分がある。農政センターが現場と企業のクッションになることで、現場と技術が繋がり、現場からはどんな技術が欲しいのかを伝えられるようになるため、そうした場にもなり得ることが農政センターの強みである。

— 結果 —

決定事項のとおり、方針決定する。

5 照会先

- ・会議の運営等について

総合政策局総合政策部政策調整課

TEL 043(245)5057

- ・議題について

経済農政局農政部農政課

TEL 043(245)5757